

蒲郡市観光まちづくりビジョン

【概要版】



観光交流立市
がまごおり

2026年3月改訂版

蒲郡市

一般社団法人蒲郡市観光協会

蒲郡市観光まちづくりビジョン改訂のポイント

～多様な人の想いをかなえられる観光まちづくり～

- 地域の主体が自発的に活動を行うプロジェクト、蒲郡市、蒲郡市観光まちづくりビジョン推進委員会、蒲郡市観光協会の支援のもと、様々な主体により多彩な取組が生まれ、発展してきた。
- 「蒲郡は個人の幸福・ウェルビーイングの意味付けができる場所」、「新たな自分らしい生き方を見つけ出すことができる場所」という考え方に沿って観光まちづくりが進められてきた。

「蒲郡らしさ」の定着化

将来の担い手・子ども達のための観光まちづくりのグランドデザインを描く

蒲郡市観光まちづくりビジョンの基本理念

住んでよいまち、訪ねてよいまち、帰りたくなるまち

市民の市民による市民のための「観光交流都市」育て～

観光新時代に対応出来る魅力ある観光交流都市を市民の手で産み出し、
市民の手で育てる市民参加型の観光地づくり・観光地育て

蒲郡市観光まちづくりビジョンの考え方

蒲郡市観光まちづくりビジョンにおける“住民”の定義

- 蒲郡市に訪れる旅行者も「一日生活者」としての“住民”と捉える。
- 蒲郡市在住者や蒲郡市在勤・在学・蒲郡市に関わる事業者と同様に、二拠点で蒲郡市に住む、あるいは蒲郡市に来て体験・体感する事を生活の一部として、あらゆる人の心に蒲郡市を存在させていく。

蒲郡市への旅行者

蒲郡市在勤・在学
・蒲郡市に関わる
事業者、団体

蒲郡市
在住者

新しい蒲郡市観光まちづくりビジョンの考え方



- 蒲郡市が「観光地らしいしつらえ」になるような環境整備を進め、「蒲郡市は観光地」として、「まち全体が生み出す幸福感」を全ての関係者が享受できるようにする。
- 市民、若者、観光客、観光関連事業者、外部の人・事業者等のあらゆる立場の人々が、自分が思い描くシナリオにもとづき、それを実現でき、自らの「幸せ」の意味づけできる受け皿となる。



■観光産業の活性化

蒲郡市観光協会が主導となり、観光事業を磨き上げ、育成し、PRしていく

■観光まちづくり

蒲郡市（行政）の関係者が、部署の垣根を越えた横断的な取組を行うことで、市民や観光客、事業者の満足度を高め、魅力高い観光まちづくりを実現する

前ビジョンからの振り返り

指標	目標値	実績値
蒲郡市への愛着	85.0%	76.5% (24年度)
蒲郡市への永住	60.0%	53.6% (24年度)
「海とふれあうまちづくり」への満足度	45.0%	49.2% (24年度)
「観光の振興」への満足度	25.0%	25.8% (24年度)
「周辺市町村との連携」への満足度	20.0%	13.1% (24年度)
転出入者数	+612人	+111人 (23年度)
蒲郡市の人口	78,400人	76,889人 (25年1月1日現在)
蒲郡観光交流おもてなしコンシェルジュの認定者数	50 (人/年) 増加	大人 1,602人、 キッズ 68人 (25年12月時点)
観光施設におけるバリアフリー対応した施設の割合	16件	24件
市内に訪れた観光客数	713万人	483万人 (24年度)
市内の宿泊者数	84.2万人	50.9万人 (24年度)
体験プログラム参加者数及び満足度	8,500人 (25年度) 満足度対前年 5ポイント増加	14,412人 (24年度) 満足度 99%

【統計データによる振り返り】

- 蒲郡市の観光利用者数は2003年の817万人をピークに減少傾向となり、2020年以降は新型コロナウイルスの影響を受けたが、**徐々に回復傾向**にある。2024年で**約483万人**であるが、コロナ禍前の水準には回復しきれていない。
- 宿泊者数**は2024年で**約51万人**となり、**観光利用者数の約1割**を占める。
- 地区別では、**大塚地区・蒲郡地区は観光利用者数が回復傾向**だが、**西浦地区・形原地区・三谷地区は横ばい**。
- 宿泊者数は全地区でコロナ禍前の水準に戻っておらず、特に形原地区は施設数減少もあり横ばいが続く。
- 2019年を基準とした観光利用者数・宿泊者数の比率は、いずれの地域も2019年の水準に回復していない。
- 外国人観光利用者数・宿泊者数は2015年以降急増したが、コロナ禍で急減し、2024年時点でも2019年の1割未満と回復が遅れている。
- 外国人観光利用者数・宿泊者数の月別推移では、2019年は**7月が多いが、年間を通じて分散傾向**が見られる。中国人旅行者の割合が高い傾向にある。

蒲郡市観光まちづくりビジョンの基本目標

指標	基準値	目標値
市内に訪れた観光客数 ※1	483万人	516万人
延べ宿泊者数 ※1	51万人	54万人
旅行消費額（総額）※2	24,228百万円	28,700百万円
旅行消費額（一人当たり単価）（日帰り客）※2	6,291円	7,500円
旅行消費額（一人当たり単価）（宿泊客）※2	37,168円	44,000円
来訪者満足度	84.60%	90%
リピーター率	91.60%	92%
住民満足度 ※3	25.80%	37%
ナビテラス（蒲郡市観光交流センター）利用者数 ※1	32,188人	34,300人
蒲郡市観光ボランティアガイド養成講座への初参加者数（年間）	1人	5人
蒲郡観光交流おもてなしコンシェルジュ・蒲郡観光キッズコンシェルジュの認定者数	大人1,602人、 キッズ68人 (2025年12月時点)	大人50（人/年）、 キッズ10（人/年）増加
地域プロジェクトマネージャー養成課程 修了者数	2人	6人
景観まちづくり参加の重要性に関する関心度 ※4	68.50%	70.00%
手助けやボランティアをしている又はしたい人の割合 ※4	23.4% (2022年時点) ※5	35.00%

※1：観光庁「観光立国推進基本計画」において、地方部延べ宿泊者数を令和7年までに3.2億人泊にする【令和元年実績：3.0億人泊】としており、これを年平均に換算すると1.08%となり、このまま推移すると仮定する。

※2：観光庁「旅行・観光消費動向調査」において、2019年：21.9兆円、2024年：25.2兆円であり、年平均に換算すると2.85%であり、このまま推移すると仮定する。

※3：観光の振興に関する満足度は、令和2年度が18.2%、令和4年度が22.0%、令和6年度は25.8%と着実に増加しており、このまま増加傾向を維持していく。

<https://www.city.gamagori.lg.jp/uploaded/attachment/108038.pdf>

※4：第5次総合計画に準拠

※5：3年に一度データ集約を行っているため、最新のデータは2022年度となっている。

基本方針および施策の方向性

基本方針1 蒲郡市の観光まちづくりを担う人財づくり・体制づくり

1-1 市民の愛着心向上および市民参画の促進

- 市民・関係者の愛着促進
- 蒲郡市への来訪者に対するおもてなし向上
- 市民・NPO等の市民団体の活動を活かした協働事業の推進

1-2 蒲郡市のまちづくりの担い手の発掘・育成・意識啓発ならびに継承

- 蒲郡市のまちづくりを支える担い手発掘・育成・啓発

1-3 広域的な連携体制の構築

- 周辺市町との広域連携
- テーマを通じた広域連携の推進

基本方針2 蒲郡市の観光コンテンツの高付加価値化

2-1 蒲郡市のブランドの確立・維持・活用

- 蒲郡市ならではの特産品の活用
- 温泉郷の新たな楽しみ方の提案
- 蒲郡市にゆかりのある著名人や多様な人財の活用
- スポーツツーリズムの展開

2-2 市内滞在時間の拡大・観光消費額の向上

- 滞在促進・観光関連消費の拡大
- ナイトタイムエコノミーの活発化

2-3 ビジネストリップの取込(MICE・ブレジャー)

- ワーケーション・ブレジャー・MICEへの対応

2-4 蒲郡市のまちづくりに必要な財源の確保

- 着地型旅行商品の強化
- 収益事業の展開

基本方針3

観光まちづくり経営に資するマーケティング・プロモーションの強化

3-1 効果的なプロモーションの展開

- 新たな時代のニーズに合わせた対応

3-2 観光マーケティング体制の強化観光消費額の向上

- 観光に関するマーケティング手法の見直し

基本方針4

持続可能な観光まちづくりに向けた受入環境整備

4-1 観光事業における効率化・生産性向上

- DX対応
- 繁閑の平準化につながる平日需要の取込

4-2 市内外の回遊性の向上

- インフラ・アドバンテージの活用
- 市内移動交通手段の拡充および周遊性拡大
- 名鉄西尾・蒲郡線を活用した観光プログラムの創出
- ウォーカブルなまちづくり

4-3 官民が一体となった取り組み体制の構築

- 市民、関係者間による協働事業の展開
- 蒲郡のロケーションの活用
- 蒲郡市の賑わいを創出する事業者の呼び込み・事業支援
- 事業者支援・起業支援との観光での結びつけ支援
- 蒲郡市の広大な空間の活用方法の検討

4-4 多様な旅行者に対応した受入環境整備促進

- ユニバーサルデザインへの対応
- 訪日外国人の多様化に対応した受入環境の整備

推進体制

- 市内の各地域で主体的に行われる、地域ならではの取組を推進し、活性化させていくことを念頭に置き、それらの取組が円滑に進むような体制を構築する。
- 将来は、エリアマネジメント組織として、それぞれが自立的かつ永続的な取組が進む蒲郡市、蒲郡市観光協会との連携を図る。
- 様々なステークホルダーとの情報共有や意見交換を行い、それぞれの取組が活性化していくような体制を構築する。

官民が一体となった蒲郡市観光まちづくりビジョンの推進体制

